

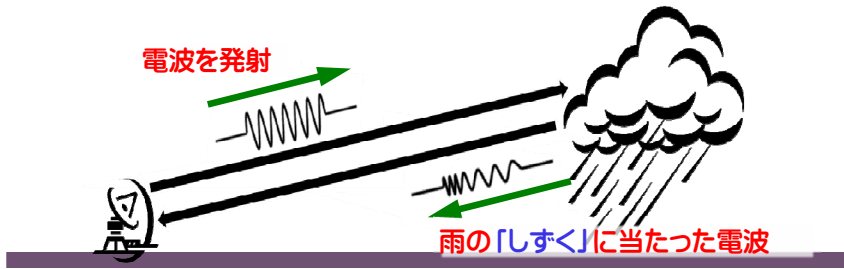
# 雨の見張り番

## レーダ雨量計とは

どのくらい雨が降っているかは、**雨量**で表します。  
 雨量は、降った雨がたまった場合の水の深さ(mm)で表し、通常「**転倒(てんとう)ます型雨量計**」で降った雨を直接集めて測ります。  
 このため、「**転倒ます型雨量計**」を設置していない場所の雨量は判りません。  
**「レーダ雨量計」**は、電波を雨の「しずく」に当て、はね返ってきた電波から、**はなれた場所の雨量を測る装置**です。



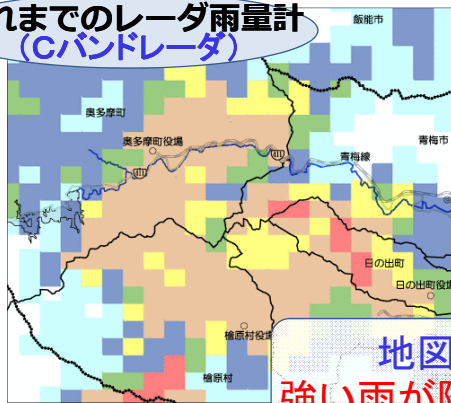
雨量を直接測る「**転倒ます型雨量計**」  
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/ur/books/uryou/uryou.pdf>



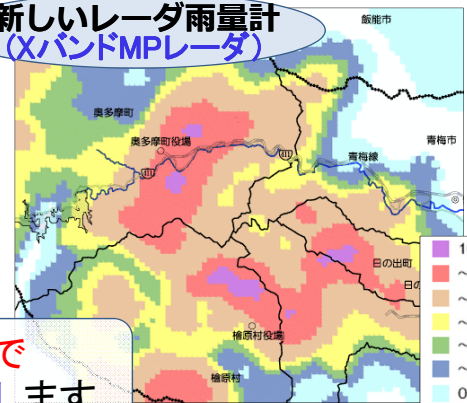
## レーダ雨量計の整備

レーダ雨量計は、電波の種類によって、観測できる広さや細かさが異なります。国土交通省では、日本全国の雨をくまなく測るために、26基のCバンドレーダ雨量計を整備しています。これに加えて、**局地的大雨**(いわゆるゲリラ豪雨)を測るために、**よりきめ細かく、短い時間で雨を観測できるXバンドMPLレーダ雨量計**を、都市部を中心に39基整備しました。

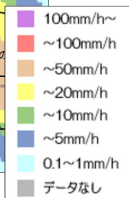
これまでのレーダ雨量計 (Cバンドレーダ)



新しいレーダ雨量計 (XバンドMPLレーダ)



地図の上の色がちがいで強い雨が降っている地域を示します。



新しいレーダ雨量計の整備により、雨の強さや降っている場所を**より細かく、より正確に、より早く、知らせられる**ようになりました。  
 このような**雨の情報**を**水害の軽減**に役立てています。

自分の街の雨の様子を見よう！

